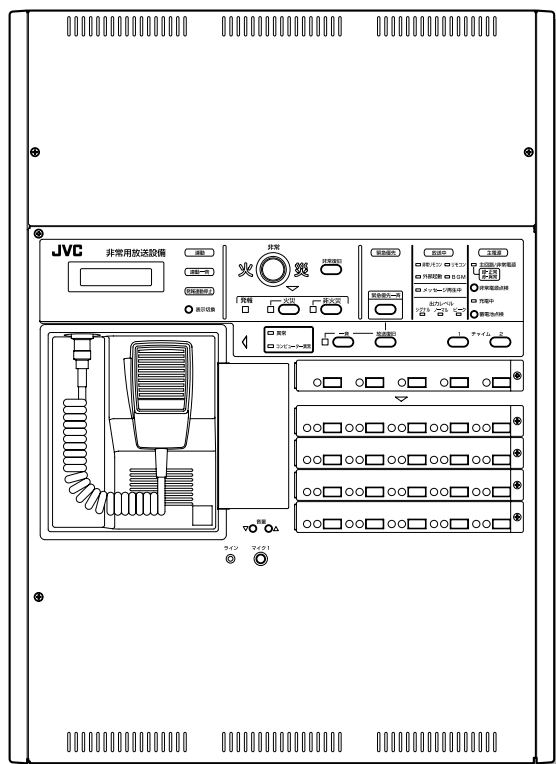
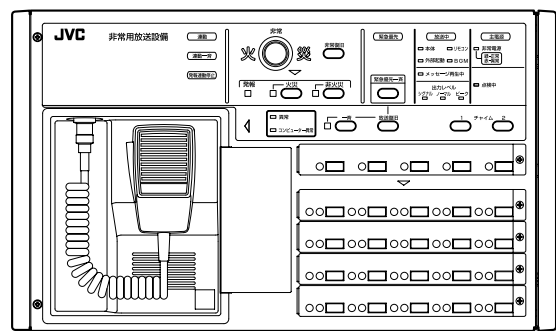
JVC

非常業務放送設備

型名 **EM-K100 シリーズ** 取扱説明書

EM-K100 シリーズ（壁掛型非常業務放送装置）
※イラストは EM-K100-20 です。

EM-C100 シリーズ（非常業務遠隔操作器）
※イラストは EM-C100-20 です。

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

LST0958-001A

特長

壁掛型非常業務放送システム
操作部、増幅部および蓄電池を一つの筐体に収納した非常放送と業務放送が行える壁掛型の放送装置です。

自動音声警報機能
消防法施工規則、技術基準に対応した自動音声警報機能により、的確な非常放送ができます。

省エネ対応
パワーアンプのデジタル化により、消費電力や CO_2 排出量を抑えることができます。

緊急優先放送機能
地震・事故などの緊急事態に他の業務放送より優先される緊急優先放送をすることができます。
緊急優先一斉スイッチ、ブロックスイッチ、または外部からの起動により優先的に放送をすることができます。

業務放送用メッセージを標準搭載
地震速報や防犯放送などのメッセージを標準搭載。ワンタッチで放送ができます。

運用形態にあわせた優先順位設定が可能
本体放送、メッセージ放送などの放送機器（放送グループ）を運用形態にあわせて、優先順位が設定できます。
（2 位～ 6 位に設定できます。緊急優先放送が 1 位固定、BGM は 6 位固定となります。）
なお、他の放送に BGM をミキシングして放送する事も可能です。

状態出力機能
火災放送中などの状態を外部機器に出力する機能により、誘導灯などの防災や防犯システムとの連携を強化できます。

自己診断機能
コンピューターによる自動診断機能により、機器の異常状態を検出して異常表示灯、液晶表示（EM-K100 シリーズ）と電子音でお知らせます。

操作案内システム
非常時には操作案内システムがはたらき、音声ガイドと指示灯で操作を指示します。また、EM-K100 本体では液晶表示部にも案内表示されます。

ブロック放送機能
業務放送、BGM 放送、報時チャイム、電話ページングなどの放送において、複数のスピーカー回線を機能別／用途別に任意のグループにまとめて放送できます。

停電放送対応（業務放送）
追加電源ユニットと蓄電池を使用することにより、停電放送に対応することができます。

リモコン放送
非常リモコン（EM-C100 シリーズ）を最大４台、マルチ業務リモコン（PA-C620）を最大 8 台、業務リモコン（PA-C50 シリーズ）を最大 8 台接続でき、本体と離れた場所から放送できます。

商品名	機種名	呼称 1	呼称 2
壁掛型非常業務放送装置	EM-K100-10	EM-K100 シリーズ	本体
	EM-K100-15		
	EM-K100-20		
非常業務遠隔操作器	EM-C100-10	EM-C100 シリーズ	非常リモコン
	EM-C100-15		
	EM-C100-20		
デジタルパワーアンプユニット	EM-KA80D	EM-KA シリーズ	デジタルパワーアンプ
	EM-KA160D		
	EM-KA240D		
	EM-KA380D		
追加電源ユニットケース	EM-N103	追加電源ユニット	
ユニットケース	EM-R103	ユニットケース	
マルチリモートマイクロホン	PA-C620	マルチ業務リモコン	
リモートマイクロホン	PA-C50	PA-C50 シリーズ	業務リモコン
	PA-C51		
	PA-C52		
ニッケルカドミウム蓄電池	NB-165	蓄電池	
	NB-35B		
	NB-60		

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた
ご注意　：操作上の注意が書かれています。
メモ　　：機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
☞　：参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について
- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

もくじ

はじめに

各部の名称とはたらき

非常放送をする

業務放送をする

その他

安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

	この表示（文字含む）を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています
	この表示（文字含む）を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています

絵表示の説明

一般的注意

注意（警告を含む）が必要なことを示す記号

禁止

してはいけない行為（禁止行為）を示す記号

警告

組み込みや接続は販売店に依頼する
機器の組み込みや背面端子盤への接続を誤ると、感電や火災事故の原因となることがあります。

通風孔をふさがない
各機の上面・側面・底面にある通風孔は、内部の熱を逃がす重要な穴です。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり火災や故障の原因となります。

注意

電源分電盤のスイッチは保守点検時や緊急時以外には切らない
停電時にも非常放送ができるよう非常放送用蓄電池を内蔵し、常に充電しています。

機器を重ねて使用しない
お互いの熱やノイズの影響で誤作動したり故障したり、火災の原因となることがあります。

本システムの上に物を置かない
テレビモニターのような重いものや、本システム各機からはみでるような大きなものを置くと、バランスが崩れて倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

本システムの上に乗らない、ぶら下がらない
倒れたり、壊れたりしてケガの原因となることがあります。特に小さいお子様には注意してください。

本システムの上に水の入ったもの（花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）を置かない
こぼれたり、機器の内部に入ると、火災、感電の原因となります。

内部に物を入れない
通風孔などから、金属類や燃えやすいものが入ると火災や感電の原因となります。

正しくお使いいただくためのご注意

保管および使用場所

■ 次のような場所に置かない

誤動作や故障の原因になります。

- 許容動作温度（0 ℃～ 40 ℃）範囲外の暑いところや寒いところ
- 許容動作湿度（30 %～ 80 %）範囲外の湿気の多いところ
- 変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
- トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
- ほこりや砂の多いところ
- 振動の激しいところ
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
- 放射線や X 線、および腐食性ガスの発生するところ
- 本システムの周囲に物を置かない

操作の妨げにならないように左右 0.3m 以内、操作面前方 1m 以内には物を置かないでください。

取り扱いについて

■ 各機器の組み込みや接続は、必ずお買い上げ販売店にご依頼ください。

機器の組み込みや接続を誤ると、感電や火災の原因となることがあります。

お手入れについて

■ 本システム各機はやわらかい布でふく

機器の汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。

■ シンナーやベンジンなど揮発性のものでふかない

機器の表面が溶けたり、くもったりします。必ず水でうすめた中性洗剤でふいてください。

■ ゴムやビニール製品などを機器に長時間接触させたままにしない

プラスチックの中に含まれる“ かそ剤 ”の働きにより、変質したり、塗装がはげるなどの原因になります。

点検・調整について

■ 機器の内部にさわらない

機器の内部に触れることは、故障や感電の原因となります。日常点検以外の定期点検や調整は設置業者にお任せください。

■ 落雷による不具合が発生した場合は、すみやかにお買い上げ販売店、保守点検業者、またはビクターサービス窓口へご連絡ください。

保守点検契約のおすすめ

非常用放送設備は消防法で定期点検が義務づけられています。

- **非常用放送設備を設置した防火対象物の関係者は、当設備の定期点検を実施し、その結果を所轄消防長または、消防署長に報告しなければならない。**
- **点検者は、非常用放送設備を設置した防火対象物のうち政令で定めるものにあっては、消防設備士免状の交付を受けている者、または総務省令で定める資格を有する者でなければならない。**

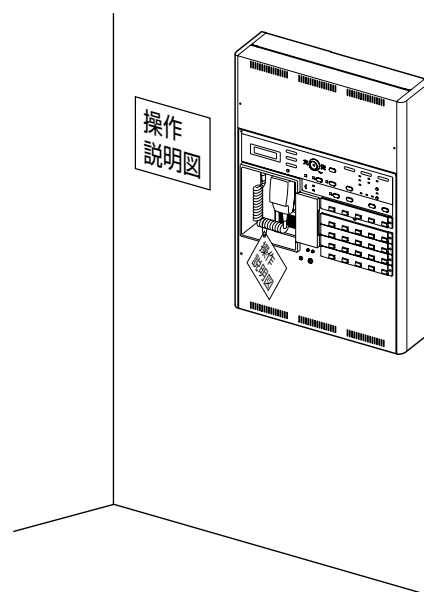
消防法　第 17 条 3 の 3　要約

資格および専門知識を必要とするため、外部に委託し点検報告を代行させることが「保守点検制度」です。

メモ:

- お買い上げ販売店、保守点検業者、またはビクターサービス窓口の有資格者が保守点検を申し受けしますので、お問い合わせの上、保守点検契約を締結していただきますようお勧めいたします。

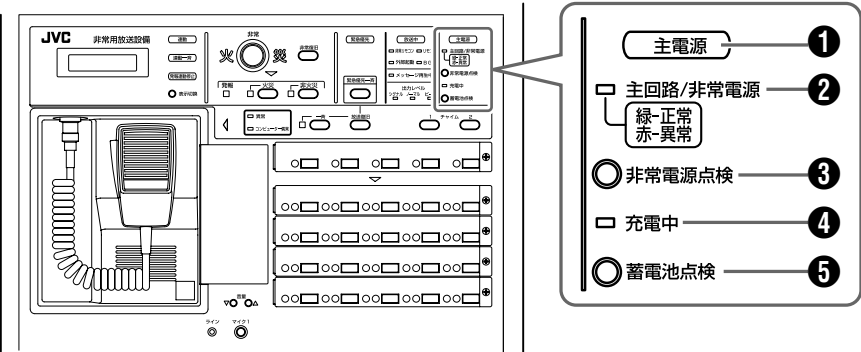
操作説明図について

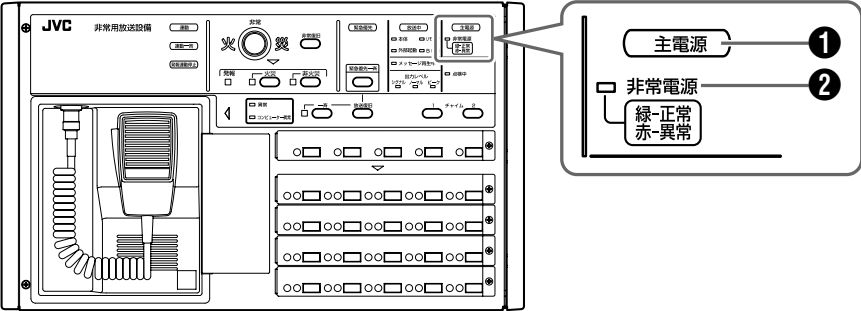
付属の「操作説明図」は、非常時に確実な操作ができるよう、機器の近くへ掲示してください。

「操作説明図」で通風孔をふさがないでください。機器内部の温度が上昇し、故障や火災の原因になります。

日常の点検について

非常電源、予備電源の点検について

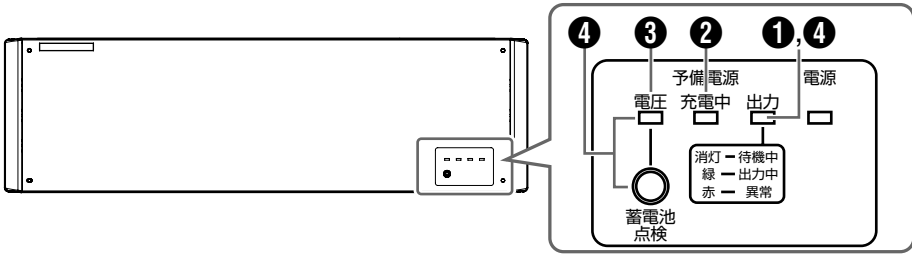
非常電源、予備電源の点検は次のように行なってください。

■ 本体（EM-K100 シリーズ）点検項目

項　目	確認内容	正　常	異　常
❶ 主電源の点検	[主電源] 表示灯を確認する。	緑色に点灯	消灯
❷ 主回路の点検	[主回路 / 非常電源] 表示灯を確認する。	緑色に点灯	赤色に点灯
❸ 非常電源の点検	[非常電源点検] スイッチを押し、[主回路 / 非常電源] 表示灯を確認する。	緑色に点灯	赤色に点灯
❹ 充電回路の点検	[充電中] 表示灯を確認する。	緑色に点灯	消灯
❺ 非常放送用蓄電池の点検	[蓄電池点検] スイッチを押し、液晶表示部を確認する。確認後、[戻る] スイッチ（ポケットカバー内）を押すと、液晶表示部は通常状態に戻ります。	デンアツ : セイジョウ	デンアツ : イジョウ ブザー音

■ 非常リモコン（EM-C100 シリーズ）点検項目

項　目	確認内容	正　常	異　常
❶ 主電源の点検	[主電源] 表示灯を確認する。	緑色に点灯	消灯
❷ 非常電源の点検	[非常電源] 表示灯を確認する。	緑色に点灯	赤色に点灯

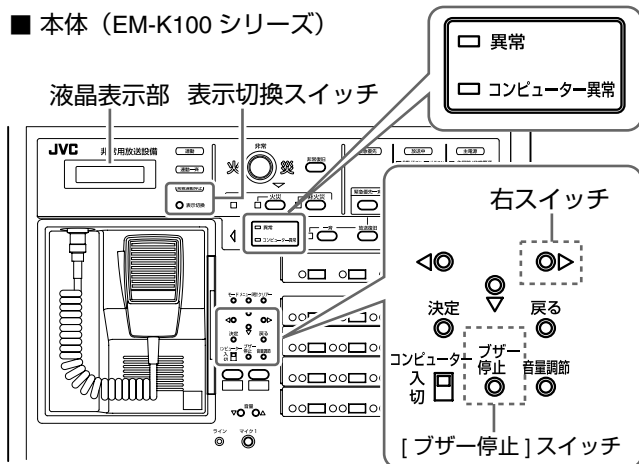
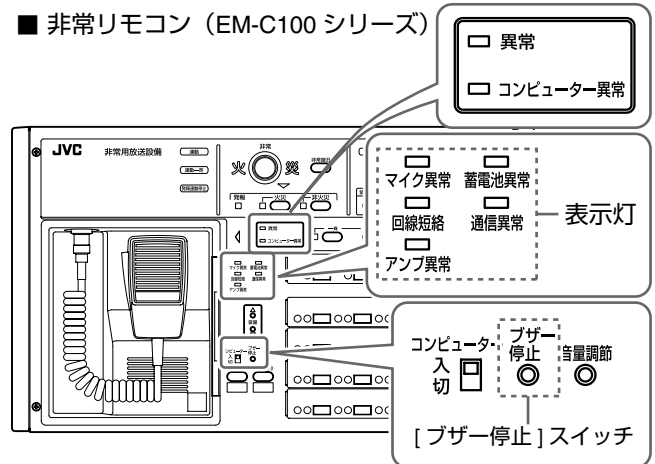
メモ:

- 異常が発生した場合は、すみやかにお買い上げ販売店、保守点検業者、またはビクターサービス窓口へご連絡ください。

■ 追加電源ユニット（EM-N103: オプション）点検項目

項　目	確認内容	正　常	異　常
❶ ファンの点検	[出力] 表示灯を確認する。	消灯	赤色に点灯
❷ 充電回路の点検	[充電中] 表示灯を確認する。	緑色に点灯	消灯
❸ 予備電源の点検	[電圧] 表示灯を確認する。	緑色に点灯	赤色に点灯
❹ 予備電源用蓄電池の点検	蓄電池点検スイッチを３秒～５秒間押し続け、[電圧] 表示灯および、[出力] 表示灯を確認する。	[電圧] 表示灯：緑色に点灯 [出力] 表示灯：消灯	赤色に点灯

自動診断機能について

コンピューターによる自動診断機能で機器の状態を監視しています。異常を検出すると本体は、フロントパネルの [異常] 表示灯が点灯し、ブザー音で知らせます。EM-K100 本体は、[表示切換] スイッチまたは右スイッチ（ ▶）を押すと液晶表示部に異常内容が表示されます。
非常リモコンはフロントパネルおよびポケットカバー内の [異常] 表示灯が点灯し、ブザー音で知らせます。

■ 本体（EM-K100 シリーズ）

■ 非常リモコン（EM-C100 シリーズ）

■ 自動診断機能の内容

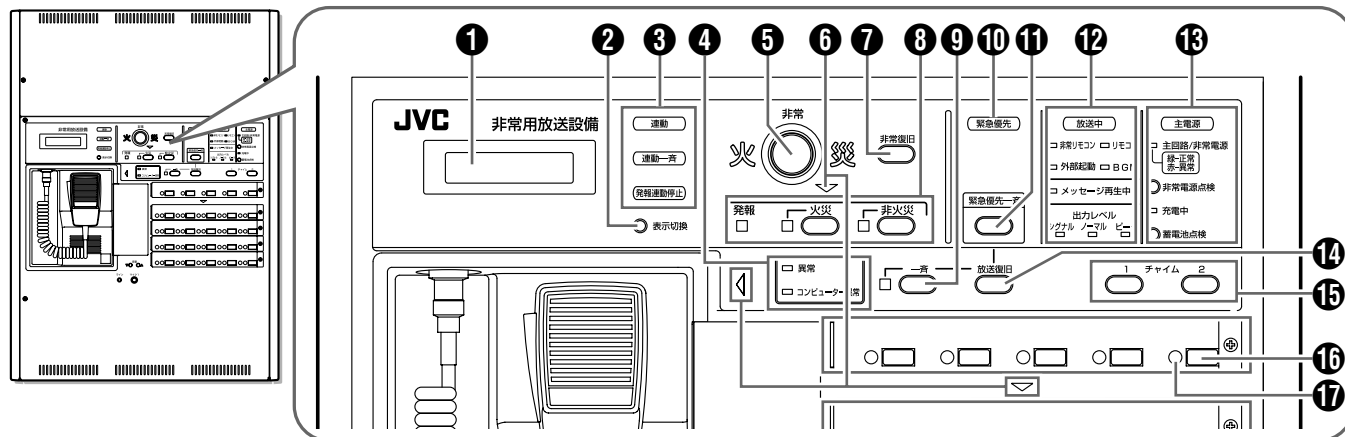
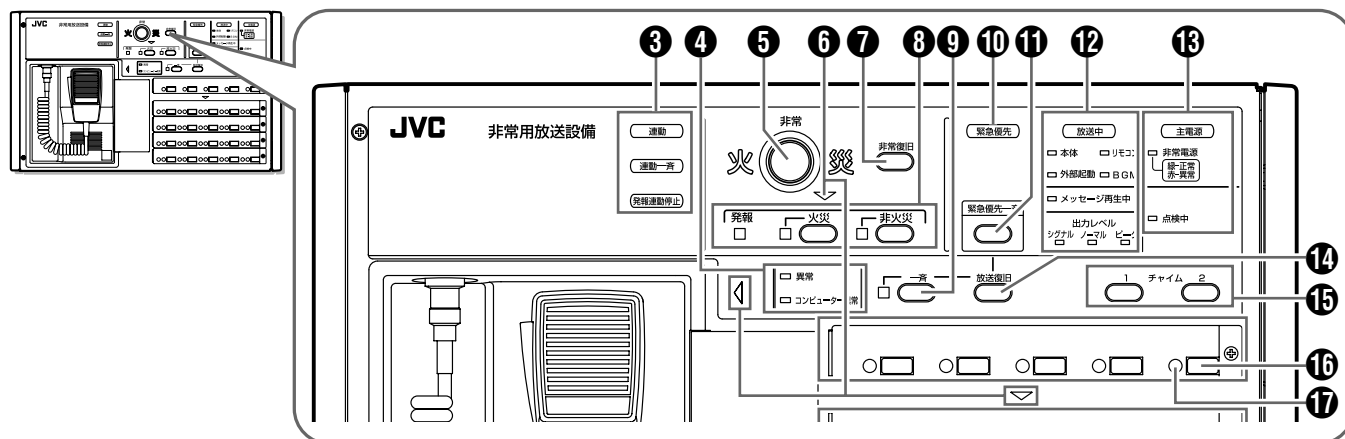
項　目	内　容	表示灯		液晶表示部の表示（本体のみ）
コンピューターの動作監視	常時、内蔵のコンピューターの動作を監視しています。	[コンピューター異常] 表示灯点灯		―
異常表示	スピーカー回線、アナウンスマイク、本体と非常リモコンの通信、パワーアンプ動作、蓄電池電圧の異常を監視しています。	[異常] 表示灯点灯		異常表示灯が点灯した場合、[表示切換] スイッチまたは右スイッチを押すと“ イジョウ ハッセイ ” と表示されます。表示内容の詳細については、[異常発生内容（エラー）表示]（☞12 ページ）をご覧ください。（表示例） ｲｼﾞｮｳ ﾊｯｾｲ ﾎﾝﾀｲﾏｲｸ
スピーカー回線の短絡監視	放送中、スピーカー回線の短絡を監視しています。	[回線表示] 表示灯点灯	非常リモコンのみ	
通信回線の監視	常時、本体と非常リモコンの通信状況を監視しています。	[通信異常] 表示灯点灯		
蓄電池の点検	設定されたメンテナンス時刻（1 回 / 日）に蓄電池を放電させ電圧を点検しています。	[蓄電池異常] 表示灯点灯		
パワーアンプの動作監視	常時、パワーアンプの動作を監視しています。	[アンプ異常] 表示灯点灯		
アナウンスマイクの監視	常時、アナウンスマイクの断線を監視しています。	[マイク異常] 表示灯点灯		

メモ:

- システム全体（本体および非常リモコン）のブザー音を停止するときは、[ブザー停止] スイッチを押してください。その他のスイッチを押した場合、システム全体のブザー音は停止しませんが、スイッチを押した機器のブザー音は停止します。
- 異常が発生した場合は、すみやかにお買い上げ販売店、保守点検業者、またはビクターサービス窓口へご連絡ください。

操作パネル

フロントパネル（本体、非常リモコン）

■ 本体（EM-K100 シリーズ）

■ 非常リモコン（EM-C100 シリーズ）

❶ **液晶表示部（本体のみ）**

業務放送中は放送名を表示します。
異常（エラー）発生時は異常内容を表示します。
(☞ 12 ページ『 液晶表示部（本体のみ）』)

❷ **[表示切換] スイッチ（本体のみ）**

液晶表示部に異常内容を表示させるときや、表示内容を切り換えるときに押します。

❸ **[連動] 表示灯**

自動火災報知器からの火災信号受信時の動作状態を示します。

- [連動]（緑）
  火災信号によって、出火階と連動階へ非常放送します。
- [連動一斉]（緑）
  火災信号によって、全館へ非常放送します。
- [発報連動停止]（オレンジ）
  自動火災報知設備から火災信号を受信した場合、発報放送は停止しますが、火災放送は行います。

❹ **[異常] 表示灯と [コンピューター異常] 表示灯**

- [異常] 表示灯（赤）
  コンピューター以外の異常があるとき点灯し、同時にブザー音が鳴ります。
- [コンピューター異常] 表示灯（赤）
  コンピューター動作に異常があるときや、システムのリセット動作時に点灯します。

❺ **[非常] 起動スイッチと [火災] 表示灯（赤）**

- [非常] 起動スイッチ
  手動で非常放送をするときに押します。
- [火災] 表示灯（赤）
  火災信号を受信したとき、手動で [非常] 起動スイッチを押したとき点灯します。

❻ **操作指示灯**

非常時の操作を点滅により指示します。
(☞ 16 ページ『 操作案内システムについて 』)

❼ [非常復旧] スイッチ

非常放送を終了し通常の状態に復旧するときに押します。

❽ 自動音声放送スイッチと表示灯

非常時の自動音声を放送するときにスイッチを押します。
放送中は表示灯が点灯します。
(☞ 16 ページ『 自動音声放送の種類と内容について 』)

● [発報] 表示灯（オレンジ）

発報放送（発報時の自動音声）中に点灯します。
発報放送中にアナウンスマイクで放送した後や、発報放送終了後の火災音信号（ピーッ、ピーッ）が鳴動中は点滅します。

● [火災] 放送スイッチ / 表示灯（赤）

火災放送（火災時の自動音声）を行うときに押します。
火災放送中は [火災] 表示灯が点灯します。火災放送中にアナウンスマイクで放送したあとは点滅します。

● [非火災] 放送スイッチ / 表示灯（緑）

非火災放送（火災ではないときの自動音声）を放送するときに押します。
非火災放送中は [非火災] 表示灯が点灯します。非火災放送終了後は点滅します。

❾ [一斉] 放送スイッチ / 表示灯 (緑）

全館に一斉放送するときに押します。
放送される室内のアッテネーターを設定によって " 有効 " または " 無効 " にできます。ただし非常放送時および緊急優先放送時は、放送される室内の音量切り換えを " 切 " にしたエリアにも放送されます。
一斉放送中は [一斉] 表示灯が点灯します。

❿ [緊急優先] 表示灯（オレンジ）

緊急優先一斉放送、緊急優先ブロック放送、外部起動の緊急優先放送のいずれかの放送中に点灯します。

⓫ [緊急優先一斉] スイッチ

全館に緊急優先一斉放送をするときに押します。
放送される室内のアッテネーターを " 切 " にしたエリアにも放送されます。

⓬ [放送中] 表示灯（緑）

業務放送中および非常放送中に点灯します。

● [非常リモコン] 表示灯（緑）（本体のみ）

非常リモコンの放送中に点灯します

● [リモコン] 表示灯（緑）

業務リモコン（PA-C50 シリーズ）、マルチ業務リモコン（PA-C620）、拡張ユニットのいずれかの放送中に点灯します。

● [外部起動] 表示灯（緑）

報時チャイム、アナウンスユニット、電話ページング、メッセージのいずれかの放送中に点灯します。

● [BGM] 表示灯（緑）

BGM ブロック放送、BGM 起動放送のいずれかの放送中に点灯します。

● [メッセージ再生中] 表示灯（青）

ブロックスイッチ、メッセージスイッチ、外部起動に登録されたメッセージ（内蔵）を再生中に点灯します。

● [出力レベル] 表示灯

放送される音量を表示します。" ノーマル "（緑）が点灯する音量が適切なレベルです。

● [本体] 放送中表示灯（緑）（非常リモコンのみ）

本体の放送中に点灯します。

⓭ 点検スイッチと電源表示灯

● [主電源] 表示灯（緑）

本体　　　　：常用電源（AC100V）が供給されているときに点灯します。
停電のときは消灯します。
非常リモコン：常時点灯します。停電のときも、非常電源からの電源供給によって点灯します。

● [主回路 / 非常電源] 表示灯（本体のみ）

通常は主回路の電源電圧の状態を示します。
[非常電源点検] スイッチを押すと非常電源電圧の状態を表示します。
緑色点灯：　正常
赤色点灯：　異常

● [非常電源] 表示灯（非常リモコンのみ）

非常電源電圧（EM-K100 本体内部の蓄電池）の状態を常時表示します。
緑色点灯：　正常
赤色点灯：　異常

メモ:

● [主回路 / 非常電源] 表示灯が赤色に点灯した場合は、お買い上げ販売店、保守点検業者、またはビクターサービス窓口へご相談ください。

● [非常電源点検] スイッチ（本体のみ）

非常電源の出力電圧を点検するときに押します。

● [充電中] 表示灯（本体のみ）

本体（非常放送用）の蓄電池が充電されているときに点灯します。この蓄電池は停電時の非常放送に使用されます。

● [蓄電池点検] スイッチ（本体のみ）

本体（非常放送用）の蓄電池を点検するときに押します。

● [点検中] 表示灯（オレンジ）（非常リモコンのみ）

本体が点検設定メニューに入っているときに点灯します。

⓮ [放送復旧] スイッチ

緊急優先放送、緊急優先ブロック放送、業務ブロック放送を終了し通常の状態に復旧するときに押します。

⓯ [チャイム 1]/[チャイム 2] スイッチ

チャイムを放送するとき [チャイム 1] スイッチまたは [チャイム 2] スイッチを押します。

メモ:

● チャイム音の設定に関しては、お買い上げ販売店、保守点検業者、またはビクターサービス窓口へご相談ください。

⓰ ブロックスイッチ

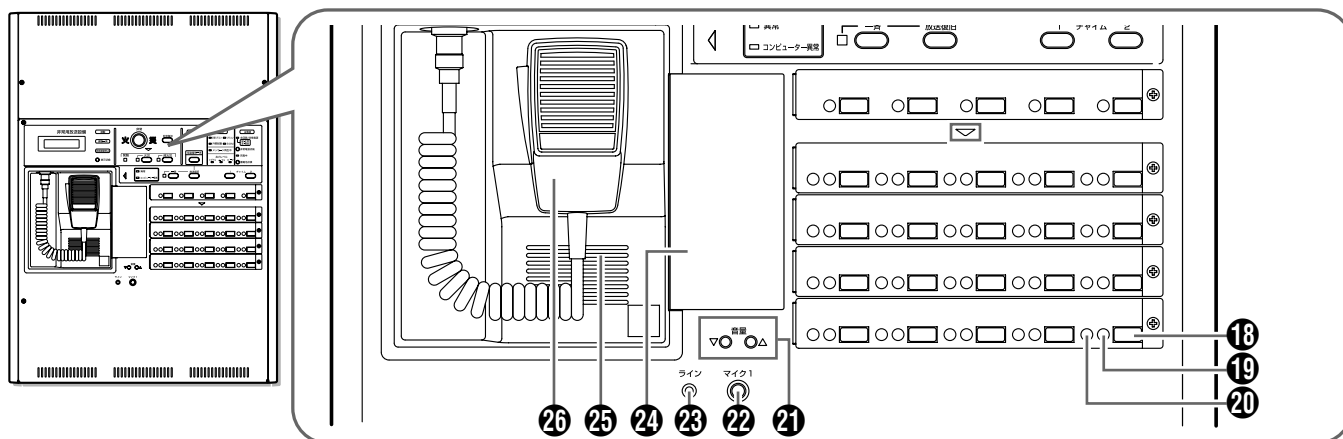
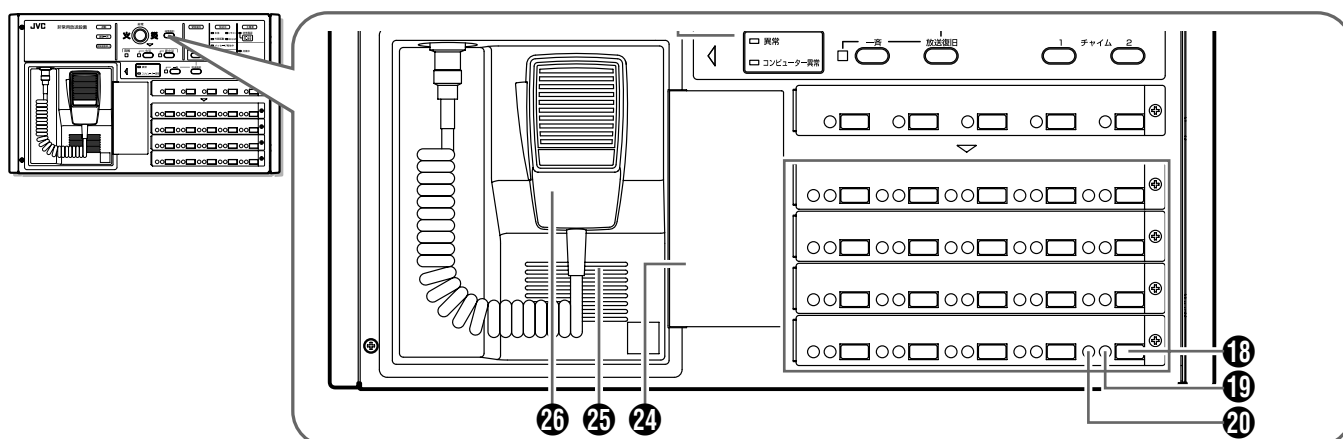
メッセージ、BGM などの放送形式と放送先が設定でき、ワンタッチで放送ができます。業務放送のときのみ使用できます。

⓱ ブロック作動表示灯（緑）

選択されたブロックスイッチが点灯します。スピーカー回線短絡時は点滅します。

操作パネル（つづき）

フロントパネル（本体、非常リモコン）（つづき）

■ 本体（EM-K100 シリーズ）

■ 非常リモコン（EM-C100 シリーズ）

⑱ 放送階選択スイッチ

放送する場所を選択します。非常放送、業務放送兼用です。付属のネームカードに放送先名称を記入し挿入します。
(☞ 24 ページ『 ネームカードの取り付け 』)

⑲ 作動表示灯（緑）

放送している場所が点灯します。
放送時にスピーカー回線が短絡すると点滅します。このとき [異常] 表示灯が点灯し、短絡したスピーカー回線は自動的に切り離されます。

メモ:
- 切り離されたスピーカー回線へは放送されませんのでご注意ください。

⑳ 出火階表示灯（赤）

感知器や発信器などの発報場所を点灯して示します。

㉑ [音量] マイク 1 入力音量調節スイッチ（本体のみ）

[マイク 1] に接続されたマイクの音量を調節します。

㉒ [マイク 1]（本体のみ）

マイクロホンの音声出力プラグを接続します。本体放送時に使用できます。

㉓ [ライン]（本体のみ）

CD プレーヤーなどの機器の音声出力プラグを接続します。本体放送ではなく、BGM 放送時に使用できます。

㉔ ポケットカバー

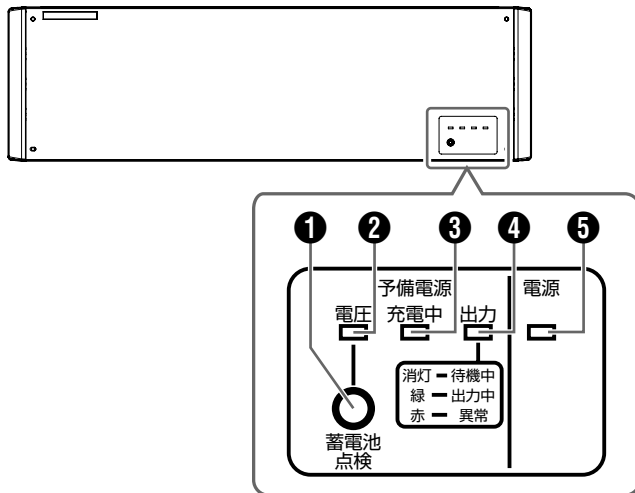
設定されたメッセージの再生や音量の調節などにカバー内のスイッチを使用します。
(☞ 13 ページ『 ポケットカバー内（本体、非常リモコン）』)

㉕ モニター用スピーカー

放送内容を確認できます。

㉖ アナウンスマイク

非常放送、業務放送兼用です。
側面のマイクスイッチを押しながらアナウンスをします。
（マイクスイッチを押すと、ハウリングを防止するため、モニタースピーカーの出力は切れます。）

フロントパネル（追加電源ユニット）

❶ [蓄電池点検] スイッチ

予備電源（業務放送用）の蓄電池の電圧を点検するときに押します。

❷ [電圧] 表示灯

通常は予備電源（業務放送用）の電源電圧の状態を示します。[蓄電池点検] スイッチが押されると予備電源用蓄電池の電圧の状態が表示されます。
（☞ 6 ページ『 非常電源、予備電源の点検について 』）
緑色点灯 : 正常時
赤色点灯 : 異常時

❸ [充電中] 表示灯

蓄電池の充電中に点灯します。

❹ [出力] 表示灯

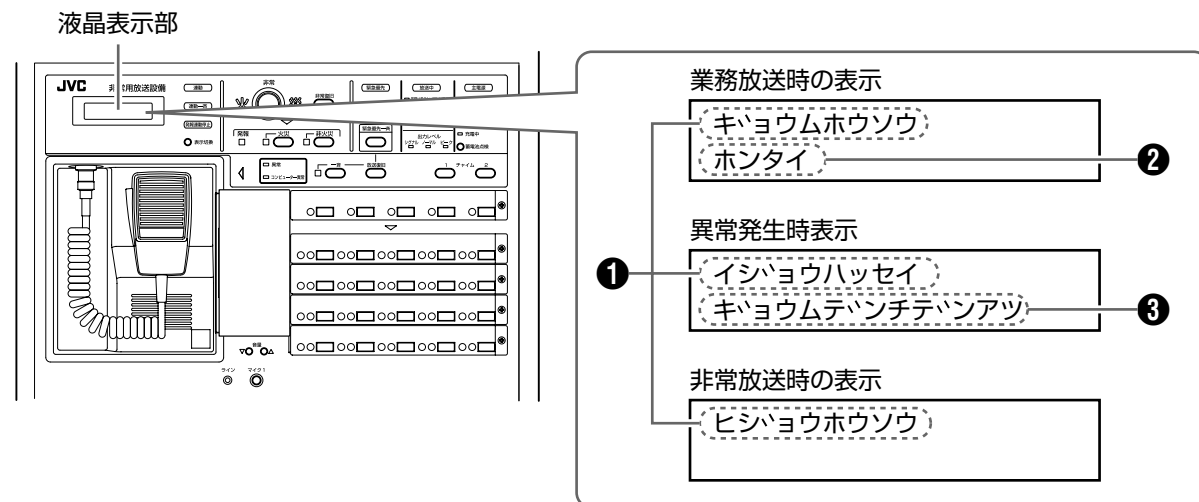
予備電源用蓄電池から起動しているとき、および異常があるときに点灯します。
消灯　 : 待機中
緑点灯 : 蓄電池起動中（出力電圧正常時）
赤点灯 : ファンの故障時および予備電源用蓄電池の点検回路が異常時

❺ [電源] 表示灯 (緑)

常用電源（ＡＣ100Ｖ）が供給されているときに点灯します。
常用電源が停電のときは、消灯します。

操作パネル（つづき）

液晶表示部（本体のみ）

放送時には本システムで行われている動作を、異常（エラー）発生時には異常内容を表示します。

❶ 表示内容

表示内容には以下の 3 種類があります。
「ギョウムホウソウ」：業務放送中に表示します。
「イジョウハッセイ」：異常（エラー）発生時に表示します
「ヒジョウホウソウ」：非常放送中に表示します。

❷ 起動放送名表示

放送内容を表示します。

- 「ホンタイ」
  本体（EM-K100 シリーズ）放送中に表示します。
- 「ギョウムリモコン」
  業務リモコン（PA-C50 シリーズ）放送中に表示します。
- 「ホウジチャイム」
  報時チャイム放送中に表示します。
- 「アナウンスユニット」
  アナウンスユニット放送中に表示します。
- 「デンワページング」
  電話ページング放送中に表示します。
- 「カクチョウユニット」
  拡張ユニットの放送中に表示します。
- 「マルチギョウム RM1 ～ 8」
  マルチ業務リモコン（PA-C620）放送中に表示します。
- 「BGM」
  BGM 放送中に表示します。
- 「メッセージ」
  メッセージ起動放送中に表示します。
- 「キンキュウユウセン」
  緊急優先一斉放送中、緊急優先ブロック放送中、緊急優先起動放送中のいずれかのときに表示します。
- 「ヒジョウリモコン」
  非常リモコン（EM-C100 シリーズ）放送中に表示します。

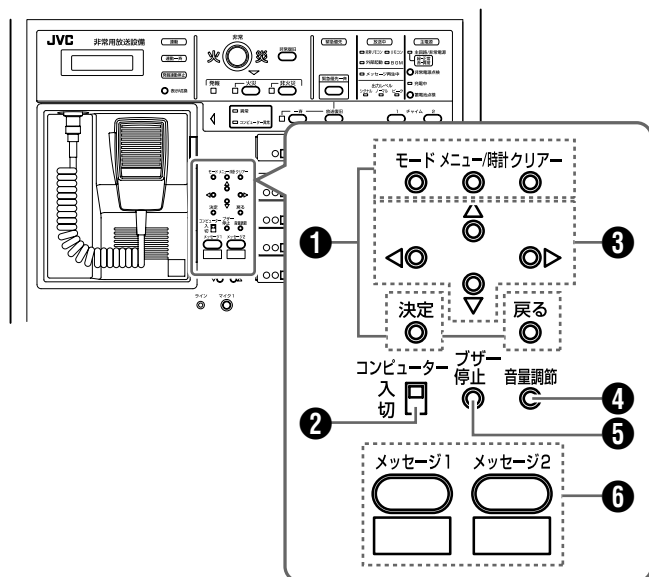
❸ 異常発生内容（エラー）表示

異常が発生した場合は下記が表示されます。すみやかにお買い上げ販売店、保守点検業者、またはビクターサービス窓口へご連絡ください。

- 「ギョウムデンチデンアツ」
- 「マルチギョウム RM ＊ツウシン」
  （＊は 1 ～ 8 のアドレス No. です。）
- 「パワーアンプツウシン」
- 「パワーアンプ＊＊」
  （＊は 02 ～ 0D のエラーコードです。）
- 「カイセンタンラク No. ＊＊＊」
  （＊は 000 ～ 020 のスピーカー回線 No. です。）
- 「ホンタイマイク」
- 「ヒジョウデンチデンアツ」
- 「ヒジョウリモコン＊ツウシン」
  （＊は 1 ～ 4 のアドレス No. です。）
- 「ヒジョウリモコンマイク」
- 「RB」
- 「ボイスファイル」
- 「リモコンデンゲン」

ポケットカバー内（本体、非常リモコン）

■ 本体（EM-K100 シリーズ）

■ 非常リモコン（EM-C100 シリーズ）

❶ **設定スイッチ（本体のみ）**

機器内部のコンピュータープログラムを設定するスイッチです。時計あわせ以外は操作しないでください。
(☞ 24 ページ『 時計のあわせかた 』)

❷ **[コンピューター 入 / 切] スイッチ**

通常は " 入 " にしてください。
(☞ 25 ページ『 緊急時に機器が動かなくなったら 』)

❸ **選択・変更スイッチ（本体のみ）**

設定項目の選択、カーソルを移動します。

❹ **[音量調節] スイッチ（本体のみ）**

モニター音量、ライン入力、マイク 2 入力の音量を調節するときに押します。
(☞ 23 ページ『 音量調節のしかた 』)

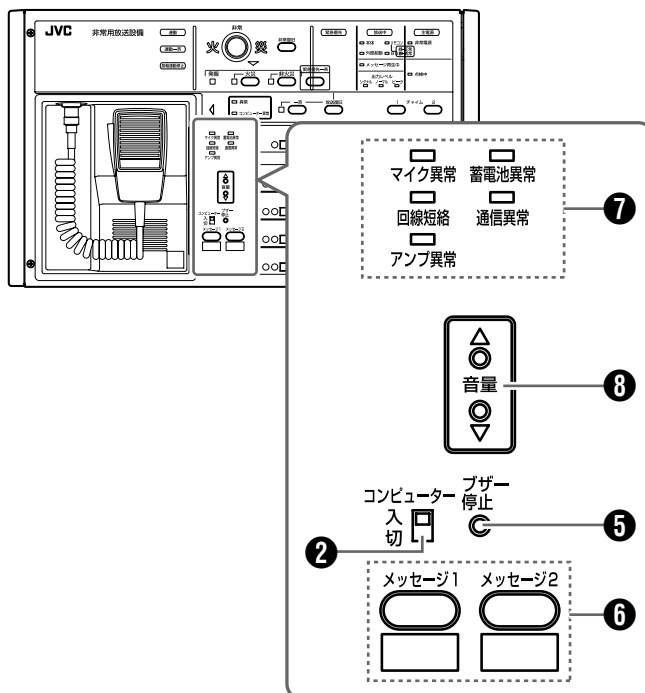
❺ **[ブザー停止] スイッチ**

異常（エラー）発生時のブザー音を停止するときに押します。
システム全体（本体、非常リモコン）のブザー音が停止します。

メモ:

- その他のスイッチを押した場合、システム全体のブザー音は停止しませんが、スイッチを押した機器のブザー音は停止します。

❻ **[メッセージ 1]/[メッセージ 2] スイッチ**

登録されたメッセージを再生するときに押します。
再生するメッセージの項目は、「緊急地震速報」、「防犯」、「放課後」、「店舗の開 / 閉」、「省エネ」、「非難訓練」、「火災防止」 などがあります。
メッセージの内容につきましては、[設置説明書] の [メッセージ一覧] をご覧ください。

❼ **異常表示灯（非常リモコンのみ）**

- [マイク異常] 表示灯（赤）
アナウンスマイクに異常があるときに点灯します。
- [蓄電池異常] 表示灯（赤）
本体または追加電源ユニットの蓄電池に異常があるときに点灯します。
- [回線短絡] 異常表示灯（赤）
スピーカー回線が短絡したときに点灯します。
- [通信異常] 表示灯（赤）
本体と非常リモコンの通信に異常があるときに点灯します。
- [アンプ異常] 表示灯（赤）
パワーアンプに異常があるときに点灯します。

❽ **[音量] スイッチ（非常リモコンのみ）**

モニター用スピーカーの音量を調節するときに押します。
▲ を押すと音量が大きくなり、▼ を押すと音量が小さくなります。
(☞ 23 ページ『 音量調節のしかた 』)

非常放送のしかた

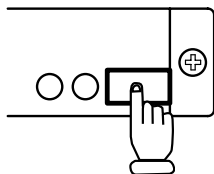
手動起動

1 火災を確認する

2 ［非常］起動スイッチを押す

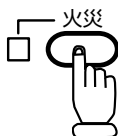
［火災］表示灯が点灯します。

3 放送階選択スイッチを押す

発報または火災メッセージが流れます。

4 状況に応じて次の *a* 〜 *c* の動作を選択する

選択したあとでも、ほかの操作を選べます。

a 火災放送（警報と自動音声）をしたいとき

［火災］放送スイッチを押します。
火災メッセージが流れます。

b 非火災放送（警報と自動音声）をしたいとき

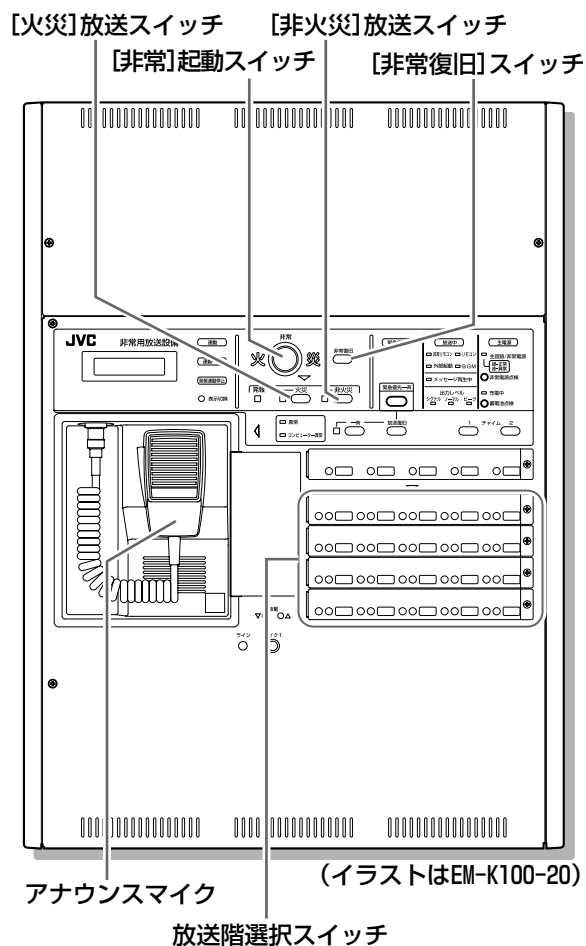
［非火災］放送スイッチ を押します。
非火災メッセージが流れます。

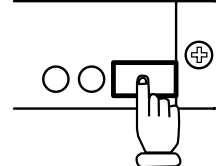
c アナウンスマイクで放送をしたいとき

アナウンスマイクのスイッチを押し、放送をします。

5 非常放送を終了する

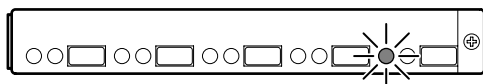
非常放送の復旧時は、［非常復旧］スイッチを押します。
［火災］表示灯が消灯します。

（イラストはEM-K100-20）

a, *b*, *c* の放送中に放送場所の追加をしたいとき

追加したい放送場所の放送階選択スイッチを押します。

感知器起動

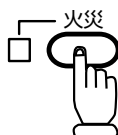
感知器起動時、感知器信号受信のメッセージが放送されます。

1 火災を確認する

[火災]表示灯が点灯し、発報または火災メッセージが流れます。
出火階表示灯が点灯している場所の火災を確認します。

2 状況に応じて次の *a* ～ *c* の動作を選択する

選択したあとでも、ほかの操作を選べます。

a 火災放送（警報と自動音声）をしたいとき

[火災]放送スイッチ を押します。
火災メッセージが流れます。

b 非火災放送（警報と自動音声）をしたいとき

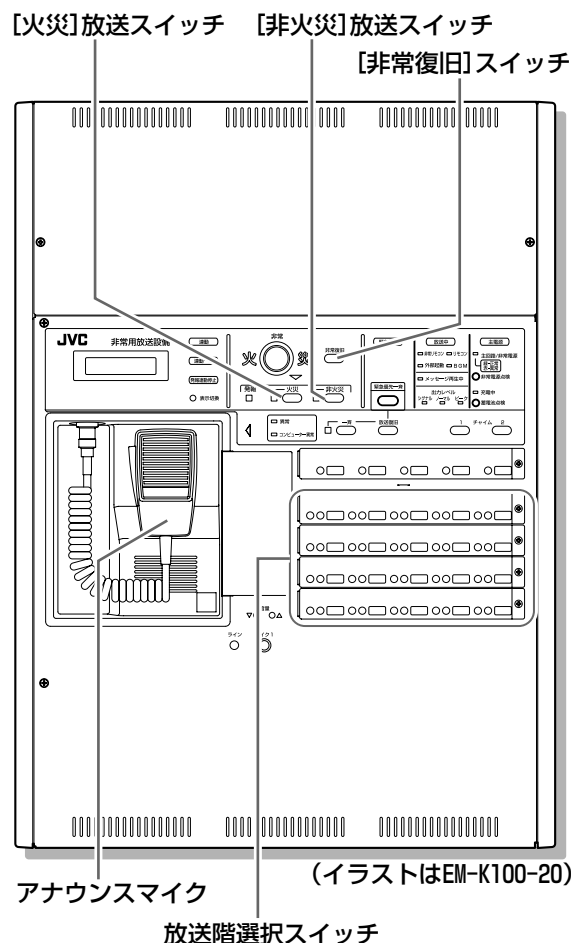
[非火災]放送スイッチ を押します。
非火災メッセージが流れます。

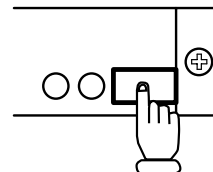
c アナウンスマイクで放送をしたいとき

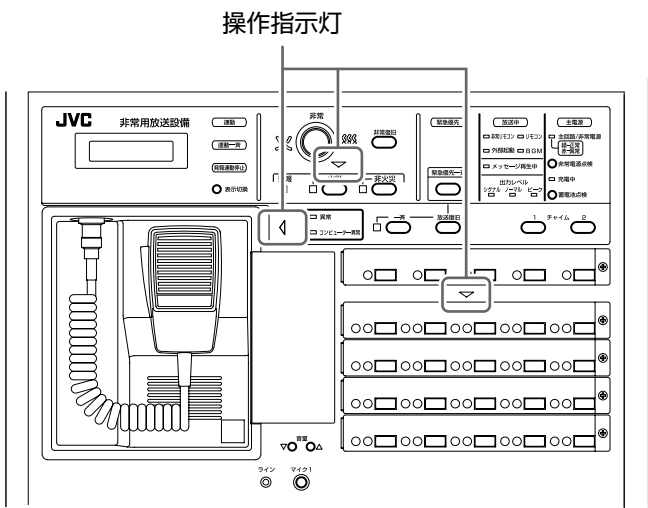
アナウンスマイクのスイッチを押し、
放送をします。

3 非常放送を終了する

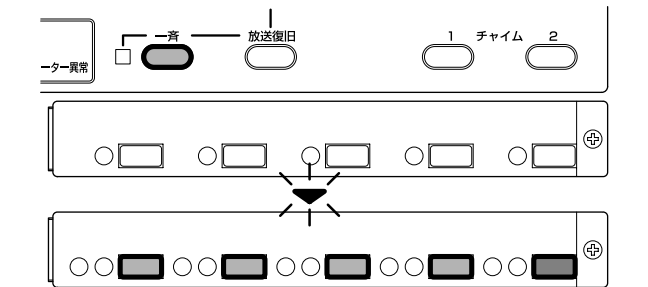
非常放送の復旧時は、自動火災報知設備の非常状態を解除したあと、
[非常復旧]スイッチを押します。
[火災]表示灯が消灯します。

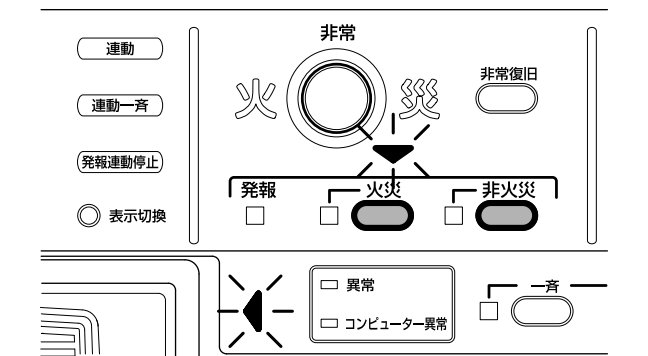
（イラストはEM-K100-20）

a, b, c の放送中に放送場所の追加をしたいとき

追加したい放送場所の放送階選択スイッチを押します。

操作案内システムについて

音声ガイドと操作指示灯の点滅によって、非常放送時の操作を案内します。
マイク放送または自動音声放送が開始されると、操作指示灯が点灯します。

操作指示灯

■ 放送階選択指示（操作指示灯点滅）

放送階選択スイッチまたは [一斉] 放送スイッチを押してください。

■ 非常放送指示（操作指示灯点滅）

アナウンスマイクを使って放送するか、[火災] 放送スイッチまたは [非火災] 放送スイッチを押してください。

自動音声放送の種類と内容について

非常時、館内の人々へ向け確実に注意を促すため、警報と音声を自動的に放送します。
（メッセージは 1 階の火災感知器が作動したときの例です。）

■ 発報放送

シグナル音（パポ、パポ、パポ）＋自動音声放送
「ただいま 1 階の火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。」（女性の声）

■ 火災放送

シグナル音（パポ、パポ、パポ）＋自動音声放送
「火事です、火事です。1 階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」（男性の声）＋スイープ音
（フィッ、フィッ、フィッ）

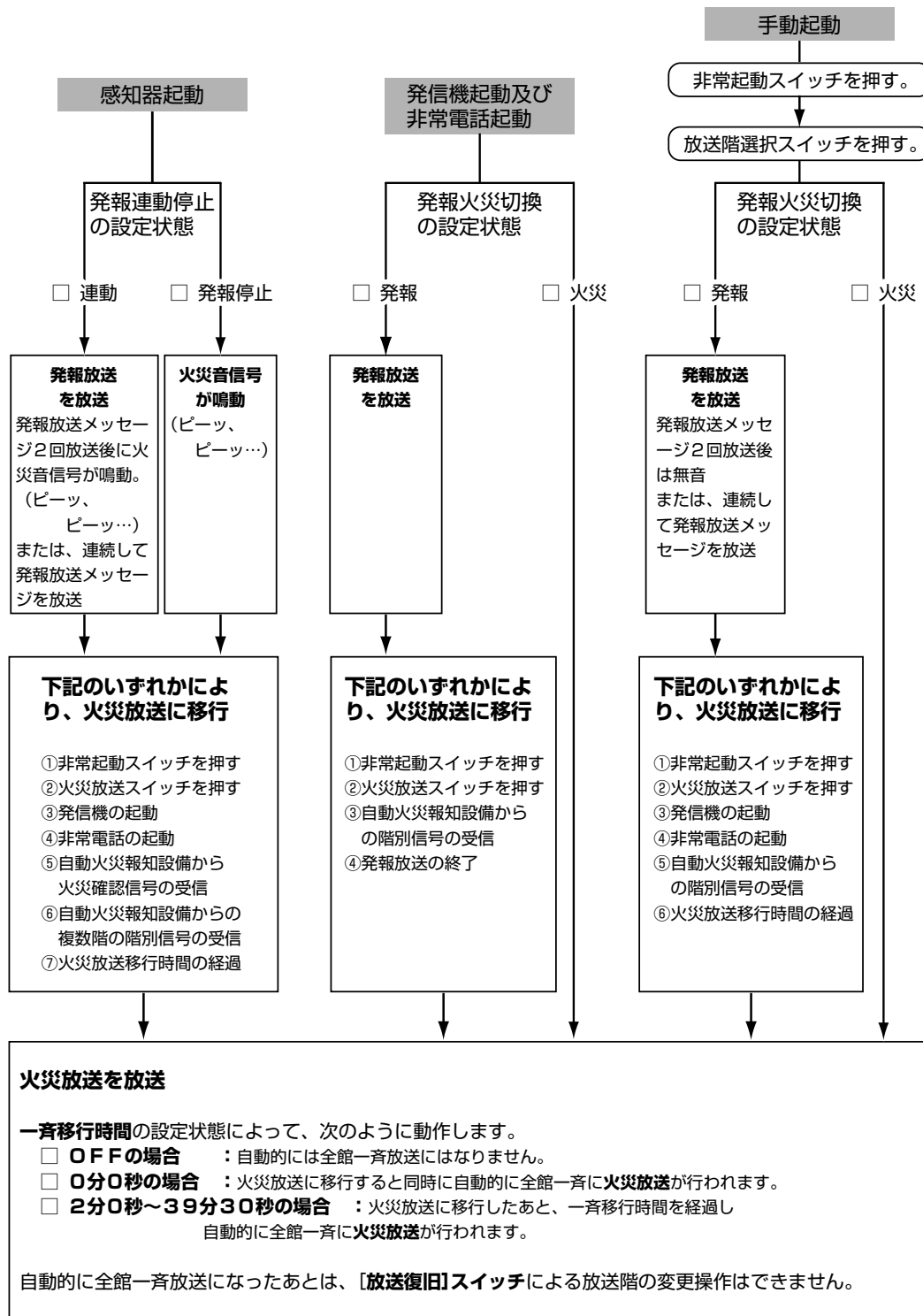
■ 非火災放送

シグナル音（パポ、パポ、パポ）＋自動音声放送
「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」（女性の声）

メモ:

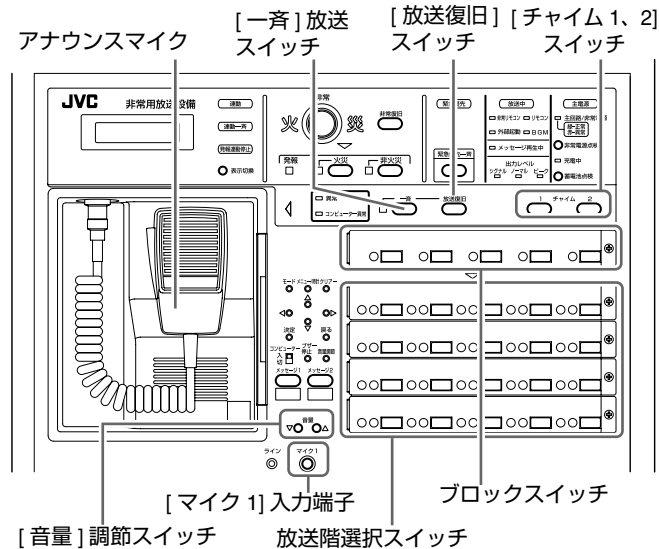
- 自動火災報知設備から階別信号の受信がない場合は、出火階情報のない自動音声放送となります。
- 感知器起動の場合、火災音信号が鳴動（ピーッ、ピーッ）します。この火災音信号は、本体および非常リモコンのモニタースピーカーより放送され、館内のスピーカー回線からは放送されません。
- 出火階情報の変更は、お買い上げ販売店、保守点検業者、またはビクターサービス窓口へご相談ください。

非常放送の動作について

非常放送は設定により次のとおり動作します。

火災ではないことを確認した場合は、**[非火災]放送スイッチ**を押してください。
非火災放送に移行し、非火災放送メッセージを２回放送します。

発報連動停止、発報火災切換、火災放送移行時間、一斉移行時間の設定はあらかじめお買い上げ販売店が設定しています。設定内容についてのお問い合わせや変更などについては、お買い上げ販売店、保守点検業者、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

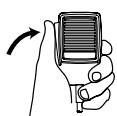
業務放送のしかた

業務放送とは、非常放送以外の一般放送のことです。本体（EM-K100 シリーズ）、非常リモコン（EM-C100 シリーズ）、マルチ業務リモコン（PA-C620）、業務リモコン（PA-C50 シリーズ）などから業務放送ができます。

アナウンスマイクによる本体放送

本体と非常リモコンは、同じ操作で業務放送ができます。

1 放送したい場所を選ぶ

放送する場所の放送階選択スイッチ、ブロックスイッチまたは [一斉] 放送スイッチを押します。

2 放送をする

- アナウンスマイクのスイッチを押し、放送します。
- 放送の前後にチャイムを鳴らすときは、[チャイム 1、2] スイッチを押します

3 放送を終了する

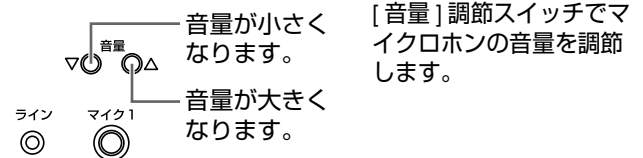
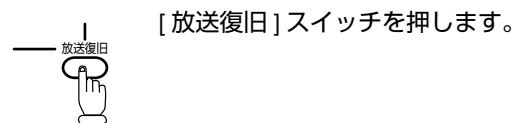
[放送復旧] スイッチを押します。

メモ:

- 放送階選択スイッチ，ブロックスイッチを押し、作動表示灯の点灯を確認してから放送してください。
- ブロックスイッチは、あらかじめ業務放送、または緊急優先放送に設定されている必要があります。

マイク 1 入力による本体放送

[マイク 1] 入力端子にマイクロホンを接続すると、業務放送ができます。

1 放送したい場所を選ぶ

放送する場所の放送階選択スイッチ、ブロックスイッチまたは [一斉] 放送スイッチを押します。

2 放送をする

[音量] 調節スイッチでマイクロホンの音量を調節します。

3 放送を終了する

[放送復旧] スイッチを押します。

メモ:

- 放送階選択スイッチ、ブロックスイッチを押し、作動表示灯の点灯を確認してから放送してください。
- ブロックスイッチは、あらかじめ業務放送、または緊急優先放送に設定されている必要があります。
- [メッセージ 1、2] スイッチまたは、ブロックスイッチでメッセージを放送した場合 [マイク 1] 入力端子からの放送はできません。アナウンスマイクのスイッチを押すとメッセージ再生を停止して放送することができます。

外部機器による BGM 放送

BGM 機器やラジオチューナーなど、本体のライン入力に接続した機器から放送ができます。

1 放送したい場所を選ぶ

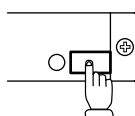
放送する場所のブロックスイッチを押します。

2 放送する

BGM 機器、ラジオチューナーなどの外部機器を作動させます。

3 音量を調節する

機器の音量を調節します。

4 放送を終了する

もう一度ブロックスイッチを押します。

メモ:
- ブロックスイッチを押し、作動表示灯の点灯を確認してから放送してください。ブロックスイッチは、あらかじめ BGM に設定されている必要があります。
- 本体（EM-K100 シリーズ）のライン入力（フロントパネル、端子台）は、BGM としての扱い（放送の優先順位が 6 位固定）となります。
- ブロックスイッチによる BGM 放送と外部起動による BGM 放送が重複した場合、外部起動による音声が優先され放送されます。ただし、放送先は両方合わせた放送先となります。

放送する場所の選びかた（ブロック放送）

本体と非常リモコンからのブロック放送をはじめ、マルチ業務リモコン、業務リモコン、BGM、報時チャイム、電話ページングなどで、機能別 / 用途別に任意のスピーカー回線をグループにまとめて放送できるブロック放送機能があります。

■ ブロックスイッチを押して選ぶ

あらかじめ設定された５つのブロックスイッチ（青色）を押すことで、ブロック放送ができます。
ブロック放送は、通常の本体放送や本体内蔵のメッセージまたは、BGM を放送します。ブロックスイッチによる放送中に [チャイム 1、2] スイッチや [メッセージ 1、2] スイッチを押し、使うことができます。
ブロックスイッチを押したあとに、優先順位が同じ、または上位に設定された他のブロックスイッチを押すと、あとで押したスイッチが優先して放送されます。

■ マルチ業務リモコン、業務リモコンからの外部起動

マルチ業務リモコンや業務リモコンからの外部起動によりブロック放送ができます。

メモ:
- ５つのブロックスイッチは緊急優先、業務、BGM の 3 種類の優先順位が設定可能です。
- ５つのブロックスイッチは、工場出荷時 BGM に設定されています。
- 非常リモコンの 5 つのブロックスイッチは、本体のブロックスイッチと同一の設定内容となります。ただし、優先順位が業務に設定された状態で、本体と非常リモコンが同じ位置のブロックスイッチを押した場合、あとで押した機器（本体または非常リモコン）の放送が優先されます。
- 工場出荷時、ブロックスイッチの設定は BGM に設定されいるため、[放送復旧] スイッチで OFF（消灯）にすることはできません。再度ブロックスイッチを押すと OFF にすることができます。なお、システム設定メニューで業務または緊急優先に設定されている場合、[放送復旧] スイッチで OFF にすることができます。
- 緊急優先ブロック放送は、各放送先のスピーカーのアッテネーターがどの位置であっても最大音量で放送されます。
- 内容を変更する場合は、お買い上げ販売店や保守点検業者、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

緊急優先放送について

地震、事故、防犯上の緊急連絡などの緊急事態に、最優先で放送可能とする緊急優先放送機能を持っています。緊急優先放送には緊急優先一斉放送、緊急優先ブロック放送、緊急優先起動放送の 3 種類の放送があります。
緊急優先放送では、放送先のスピーカーのアッテネーターがどの位置にあっても最大音量で放送されます。

■ 緊急優先一斉放送

緊急優先一斉スイッチの操作ひとつで、全スピーカー回線に他の業務放送より優先してアナウンスマイクで放送ができます。

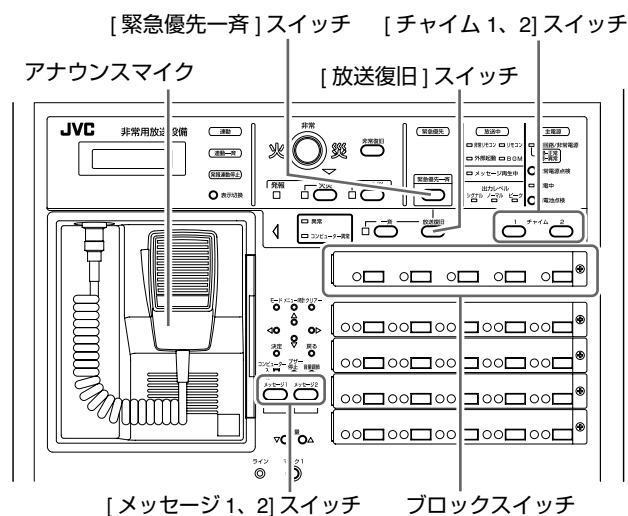
■ 緊急優先ブロック放送

ブロックスイッチ（青）を緊急優先に設定すると、スイッチ操作ひとつで、登録したメッセージやアナウンスマイクからの放送を任意のスピーカー回線に他の業務放送より優先して放送ができます。

■ 緊急優先起動放送

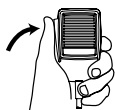
外部機器（センサーや起動スイッチなど）からの起動信号と連動して、登録したメッセージを任意のスピーカー回線に他の放送より優先して放送ができます。

メモ:
- 放送先の選択、メッセージの登録、外部機器からの制御は、あらかじめ工事とシステム設定が必要です。
- 停電放送に対応するためには、追加電源ユニット（EM-N103）と蓄電池が必要になります。
- 内容の変更をする場合は、お買い上げの販売店や保守点検業者、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

緊急優先放送のしかた

緊急優先一斉放送のしかた

1 [緊急優先一斉]スイッチを押す

- [緊急優先]表示灯、[一斉]表示灯、[放送中]表示灯が点灯し、本体の液晶表示部に「キンキュウユウセン」と表示されます。
- 作動表示灯が点灯します。

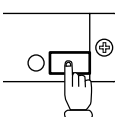
2 アナウンスマイクのスイッチを押し、アナウンスマイクで放送をする

- 放送の前後にチャイムを鳴らすときは、[チャイム 1、2]スイッチを押します。
- 緊急優先に設定されたブロックスイッチを押すと、スイッチに登録されたメッセージが放送されます。
- ポケットカバー内の[メッセージ 1、2]スイッチを押した場合も、スイッチに登録されたメッセージが放送されます。

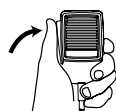
3 放送を終了する

[放送復旧]スイッチを押します。

緊急優先ブロック放送のしかた

1 放送したい場所を選ぶ

放送をしたい場所が緊急優先に設定されているブロックスイッチを押し、放送します。

- [緊急優先]表示灯、[放送中]表示灯が点灯し、本体の液晶表示部は「キンキュウユウセン」と表示されます。
- メッセージが登録されている場合、[メッセージ再生中]表示灯が点灯し、メッセージが放送されます。

2 状況に応じて、アナウンスマイクのスイッチを押し放送をする

- メッセージ再生送中に、アナウンスマイクで放送を行うと、メッセージは中断されます。
- 放送の前後にチャイムを鳴らすときは、[チャイム 1、2]スイッチを押します。

3 放送を終了する

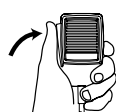
[放送復旧]スイッチを押します。

メモ:
- [メッセージ 1、2]スイッチで、メッセージを放送することができます。[メッセージ 1、2]スイッチのメッセージの内容は変更することが可能です。内容を変更する場合は、お買い上げの販売店や保守点検業者、またはビクターサービス窓口にご相談ください。
- メッセージ再生中に、別のメッセージが登録された緊急優先ブロックスイッチを押すと、再生中のメッセージが停止され、あとから押したスイッチのメッセージが放送されます。このときの放送先は、各ブロックスイッチに登録された場所すべてになります。
- 緊急優先に設定されたブロックスイッチは、本体、非常リモコンの区別なく動作します。

緊急優先起動放送のしかた

1 外部機器（センサーや起動スイッチなど）が作動して、緊急優先起動放送が始まる

[緊急優先]表示灯が点灯し、液晶表示部に「キンキュウユウセン」と表示されます。
設定されたメッセージが放送されます。

2 状況に応じて、アナウンスマイクのスイッチを押し放送をする

- メッセージ再生送中に、アナウンスマイクで放送を行うと、メッセージは中断されます。
- 放送の前後にチャイムを鳴らすときは、[チャイム 1、2]スイッチを押します。

3 外部機器が停止すると、放送を終了します。

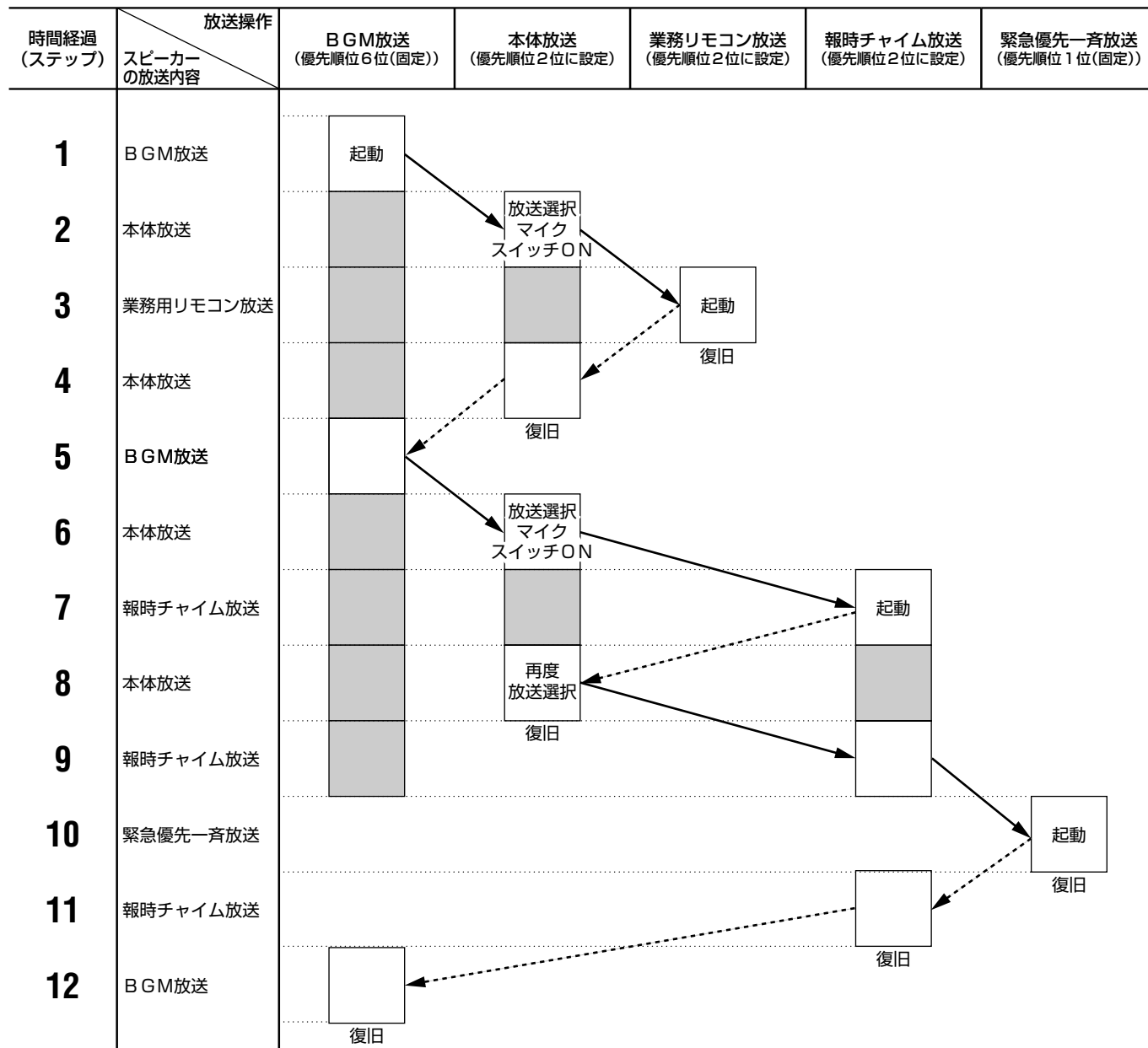
メモ:
- 外部起動による緊急優先起動放送は、あらかじめ工事とシステム設定が必要です。
- [メッセージ 1、2]スイッチにより、メッセージを放送することができます。[メッセージ 1、2]スイッチの内容は、変更することが可能です。内容を変更する場合は、お買い上げの販売店や保守点検業者、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

業務放送の優先関係について

優先順位が上位の放送中は、下位の放送の割り込みはできません。優先順位が同じ場合は、つねに後で押したスイッチや、あとから入った外部起動が優先します。ただし、緊急優先放送は最上位、BGM 放送は最下位（6 位）固定です。その他の放送は 2 位から 6 位になります。
なお、非常放送は業務放送に対して優先的に放送されます。

■ 放送グループ一覧

- EM-K100 シリーズ本体放送
- 非常リモコン (EM-C100 シリーズ) 放送
- 業務リモコン (PA-C50 シリーズ) 放送
- 電話ページング放送
- 報時チャイム放送
- BGM 放送
- アナウンスユニット放送
- 音声ファイル放送
- パソコン放送
- マルチ業務リモコン (PA-C620)1 ～ 8 放送

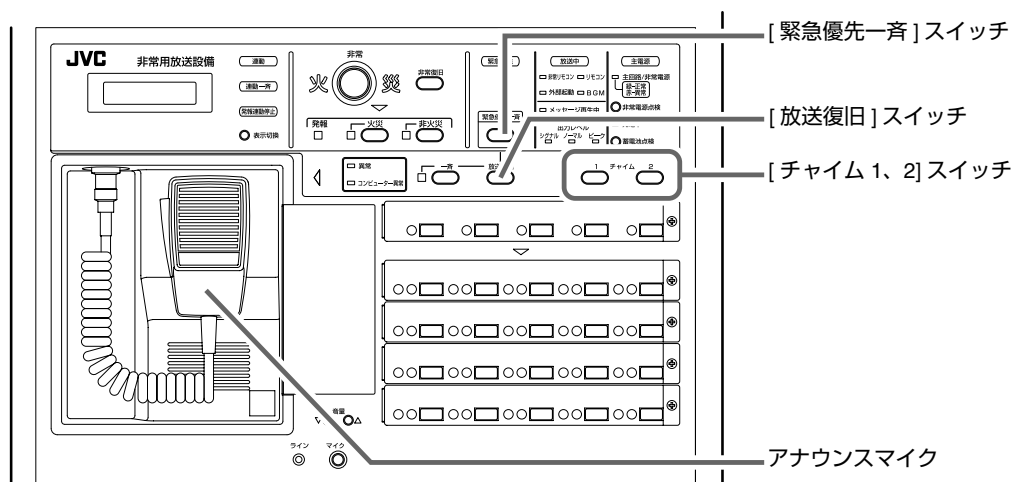
（注）下記の例では、本体放送、業務リモコン放送、報時チャイムは同じ優先順位（この場合は2位）の場合を想定しています。

メモ:

- 優先関係の設定は変更可能です。
- 優先関係の設定変更はお買い上げ販売店、保守点検業者、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

※ 　　 は他の放送の割り込みによる放送中断を表します。割り込んだ放送が復旧すると前に行われていた放送に戻ります。

停電時の業務放送について

蓄電池で約 10 分間放送できます。

停電時の業務放送は、追加電源ユニット（EM-N103）が接続してある場合に放送できます。
追加電源ユニットの [蓄電池点検] スイッチを押し、[電圧] 表示灯が緑色に点灯している場合、装置を起動して放送が可能です。
（☞ 6 ページ『 非常電源、予備電源の点検について 』）

緊急優先一斉放送

フロントパネルの [緊急優先一斉] スイッチを押すと、緊急優先一斉放送ができます。

1 [緊急優先一斉] スイッチを押す

- [緊急優先]表示灯、[一斉]表示灯、[放送中]表示灯が点灯し、本体の液晶表示部に「キンキュウユウセン」と表示されます。
- 作動表示灯が点灯します。

2 アナウンスマイクのスイッチを押し、放送をする

- 放送の前後にチャイムを鳴らすときは、[チャイム 1、2] スイッチを押します。
- 緊急優先に設定されたブロックスイッチを押すと、スイッチに登録されたメッセージが放送されます。
- ポケットカバー内の [メッセージ 1､2] スイッチを押した場合も、スイッチに登録されたメッセージが放送されます。

3 放送を終了する

- [放送復旧] スイッチを押します。
- 放送終了後、停電状態に戻ります。

メモ:
- 停電時は、ブロックスイッチによる緊急優先放送はできません。

停電起動放送

外部機器（センサーや起動スイッチ）からの起動信号により、停電起動放送を行います。

1 外部機器が作動する

外部機器が作動すると、装置が起動します。

2 放送が開始する

設定によって、各種の外部起動放送が開始されます。
外部起動放送の設定をしていない場合、操作パネルからの操作によって放送できます。

3 外部機器が停止する

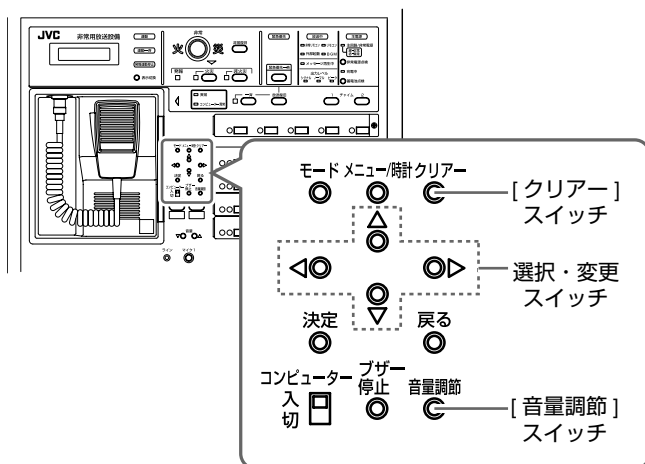
外部機器が停止すると、放送終了し、装置は停電状態に戻ります。

メモ:
- 停電時の放送は、あらかじめ工事とシステム設定が必要です。
- 内容の変更をする場合は、お買い上げの販売店や保守点検業者、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

音量調節のしかた

本体（EM-K100 シリーズ）の業務モニター、ライン入力、マイク 1 入力、マイク 2 入力の音量設定ができます。
非常リモコン（EM-C100 シリーズ）の業務モニター音量設定はポケットカバー内の [音量] 調節スイッチ（▲ / ▼）を押して調節します。
非常モニター音量は固定のため、調節できません。

※使用しない音声入力の音量は最小（0）に設定することをおすすめします。

本体の業務モニター、ライン入力、マイク 2 入力音量設定

1 「音量調節画面」を表示する

ポケットカバー内の [音量調節] スイッチを押し、液晶表示部に「音量調節画面」を表示します。

キ゛ョウム　モニター　→
オオキサ：１５

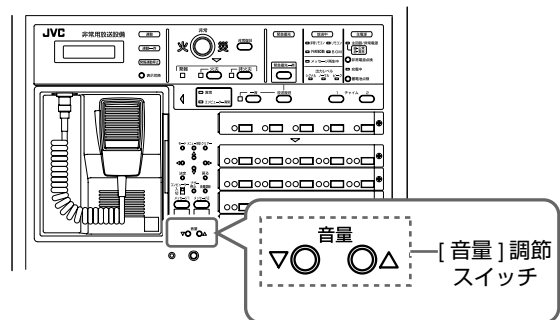
2 各項目の音量を設定する

① 選択・変更スイッチ（ ▶）または [音量調節] スイッチで設定項目を選択します。
「ギョウムモニター」「ラインニュウリョク」「マイク 2 ニュウリョク」を選択できます。

② 選択・変更スイッチ（▲ / ▼）で音量（0 ～ 20）を調節します。
[クリアー] スイッチを押すと音量は（0）になります。

3 設定を終了する

- [決定] スイッチを押すと変更内容を有効にして終了します。
- [戻る] スイッチを押すと変更内容を無効にして終了します。
- なお、[決定] スイッチを押さない場合、変更内容は無効となります。

本体のマイク 1 音量設定

1 「音量調節画面」を表示する

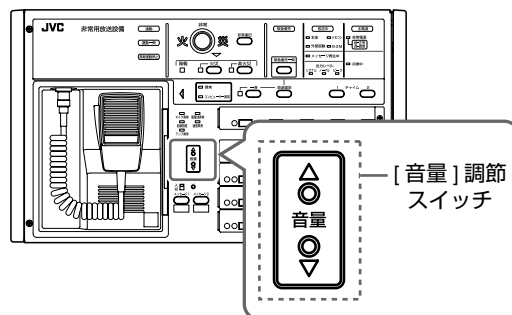
フロントパネルの [音量] 調節スイッチ（▲ / ▼）で液晶表示部に「音量調節画面」を表示します。

マイク１　ニュウリョク
オオキサ：１５

2 音量を設定する

[音量] 調節スイッチ（▲ / ▼）で音量（0 ～ 20）を調節します。

- [マイク 1] の音量設定はスイッチを押すごとに保存されます。
- 表示は一定時間後に通常表示に戻ります。

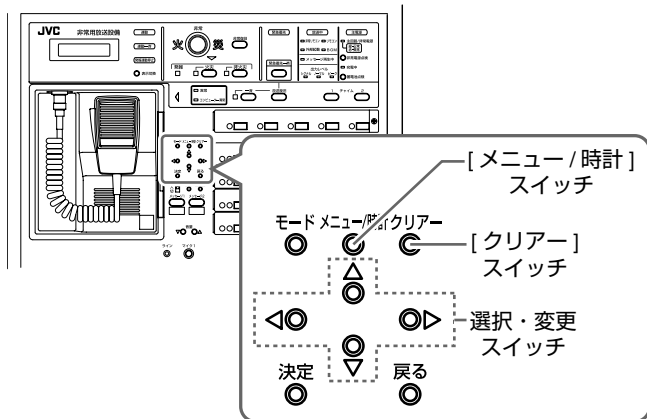
非常リモコンの業務モニター音量設定

1 音量を設定する

ポケットカバー内の [音量] 調節スイッチ（▲ / ▼）で業務モニターの音量を調節します。

メモ:

- 音量は 20 段階で調節できます。音量が最大または最小の場合、スイッチの応答音が「ピッピッ」と 2 度鳴ります。

時計のあわせかた（EM-K100 シリーズ）

本体に内蔵されている時計を設定します。時計は機器のメンテナンス用ですので多少の誤差を生じることがあります。

1 時計あわせ画面を表示する

ポケットカバー内の [メニュー / 時計] スイッチを押し、液晶表示部に「設定画面」を表示します。

```
10／01／03　　　21：51
ヒョウシ゛：シ゛コク
```

2 年月日時を設定する

選択・変更スイッチ（◀ / ▶）を押し、「 _ 」（カーソル）を下記の順番で移動し、設定する項目を選択します。
　年⇔月⇔日⇔時⇔分⇔表示
「ヒョウジ」選択肢：　ジコク、ヒヅケ、ナシ

メモ:

- 年、月、日、時、分は選択・変更スイッチ（▲ / ▼）で変更します。

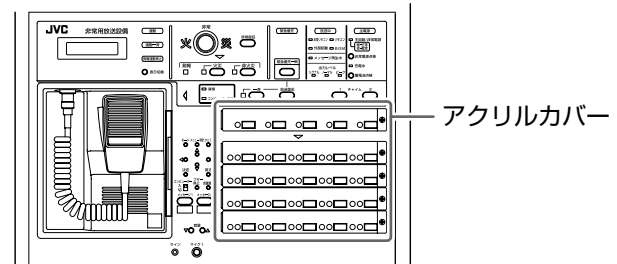
3 [決定] スイッチで設定する

変更内容を保存したいときは、[決定] スイッチを押し、内容を確定します。このとき秒は “0” より始まります。
途中で設定の変更を中止したいときは、[戻る] または [メニュー / 時計] スイッチを押します。このとき時刻は変更されません。

ご注意 :

- 時計あわせがされていないと、正しい動作履歴を記録することができません。常用電源（AC100V）をはずした場合は、必ず時計をあわせてください。

ネームカードの取り付け

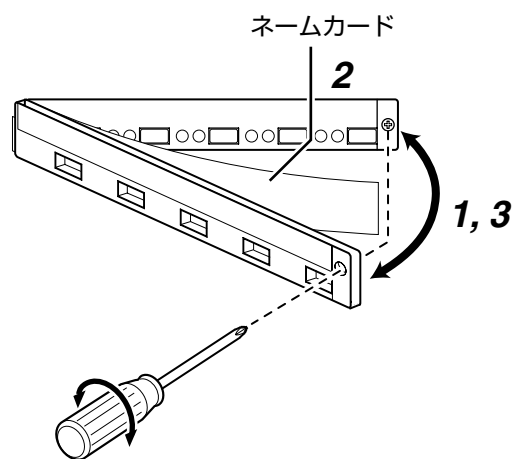
付属のネームカードに放送先の名称を記入し、切り離してご使用ください。
記入を終えたネームカードは下記の手順に従ってアクリルカバーの凹部へはめたあと、ねじで固定します。

1 アクリルカバーをはずす

アクリルカバーをとめているねじをはずします。

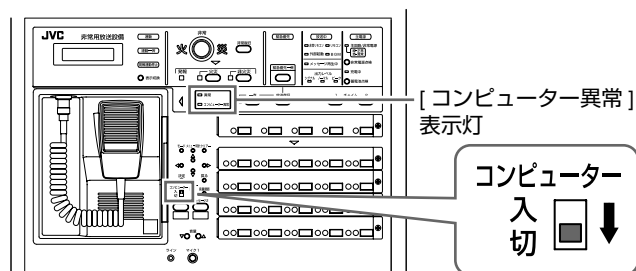
2 ネームカードを差し込む

記入を終えたネームカードをアクリルカバーの内側にはめ込みます。

3 アクリルカバーを固定する

ネームカードがずれないようにアクリルカバーを元の位置に戻し、ねじで締めて固定します。

緊急時に機器が動かなくなったら

緊急時、機器が正常に動作しない場合の対応の方法について説明します。

万一、機器が正常に動作しなくなった場合、放送が必要であれば、ポケットカバー内の [コンピューター 入 / 切] スイッチを " 切 " にしてください。
アナウンスマイクで一斉放送ができます。
放送が終了しましたら、[コンピューター 入 / 切] スイッチを " 入 " にしてすみやかにお買い上げ販売店、保守点検業者、またはビクターサービス窓口に故障状態をご連絡ください。

ご注意 :

- [コンピューター 入/切] スイッチを " 切 " にした状態で、アナウンスマイク以外のスイッチ操作はしないでください。誤動作することがあります。
- 誤動作した状態から復旧させるには、一度 [コンピューター 入 / 切] スイッチを " 入 " にしたあと、約５秒後に再度 " 切 " → " 入 " 操作を行なってください。
- [コンピューター 入 / 切] スイッチを " 切 " にしたとき、[コンピューター異常] 表示灯が点灯します。ブザー音は鳴りません。

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧のうえ、最寄のサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に次のことをお知らせください。

EM-K100-20（例）

機種名	: EM-K100-20
お買い上げ日	:
故障の状況	: 故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

※構成機器の許容動作温度は０℃～４０℃です。

※仕様および外観は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

EM-K100 シリーズ　壁掛型非常業務放送装置

■ 出力制御 ： 10、15、20 回線および一斉（非常・業務放送兼用）
■ 非常放送 ： 音声警報式、一斉火災放送移行機能付
■ ブロック放送 ： 最大 5 ブロック（緊急優先ブロック、業務ブロック、BGM ブロックを設定可能）
■ 内蔵音声警報メッセージ ： 日本語・英語 131 種類　内蔵 151 種類搭載可能
■ 内蔵業務放送メッセージ ： 12 種類（ユーザーメッセージへの変更可能）※ ウエストミンスター，サイレン
■ 内蔵チャイム ： ４音チャイム上り（早い，遅い），４音チャイム下り（早い，遅い），2 音チャイム，1 音チャイム，ユーザーチャイム搭載可能（2種）※
※ 登録時間の合計は約 10 分です。
■ 内蔵時計精度 ： 平均月差± 2 分
■ 液晶表示 ： 16 文字× 2 行　放送内容の表示、起動元の表示、異常発生内容（エラー）の表示、その他（システム設定表示）
■ 放送出力レベル計 ： 3 点　LED
■ PC 接続端子 ： D-sub 9Pin（RS-232C）
■ 音声入出力

音声入力 :
- アナウンスマイク入力 ： -45 dBs、10 kΩ　不平衡、AGC（半固定 VR、マイク断線検出機能付）
- マイク 1 入力 ： -60 dBs、10 kΩ　電子平衡（フロントパネル VOL 付）
- マイク 2 入力 ： -60 dBs、2 kΩ / -20 dBs、20 kΩ　電子平衡（入力レベル切換スイッチ付・音量調節器付）
- ライン入力（フロントパネル端子台） ： -20 dBs、5 kΩ 不平衡（音量調節器付）
- ユニットケース（ワイヤレス、ラジオ） ： 0 dBs、5 kΩ 不平衡（半固定 VR 付）
- 報時チャイム ： -20 dBs、5 kΩ 不平衡（半固定 VR 付）
- 電話ページング ： -20 dBs、2 kΩ 電子平衡（半固定 VR 付）
- アナウンスユニット / 拡張ユニット ： -20 dBs、5 kΩ 不平衡（半固定 VR 付）
- 非常リモコン（EM-C100 シリーズ） ： +6 dBs, 2 kΩ 電子平衡（半固定 VR 付）
- マルチ業務リモコン（PA-C620） ： +6 dBs, 5 kΩ 電子平衡（半固定 VR 付）
- 業務リモコン（PA-C50 シリーズ） ： 0 dBs、5 kΩ　電子平衡（半固定 VR 付）
- BGM 入力 ： -20 dBs、5 kΩ　不平衡（半固定 VR 付）

音声出力 :
- パワーアンプ出力 ： 0 dBs、100 Ω　不平衡
- 非常リモコンモニター音声 ： +6 dBs、100 Ω　平衡

■ 状態出力 ： 火災放送中、一斉火災放送中、マイク放送中、警報メッセージ放送中、緊急優先放送中、業務放送中、発報放送中、非火災放送中、異常（エラー）発生中、メンテナンス中（10 種類）
■ アンプ用音声出力
- 出力レベル ： 0 dBs ± 2 dB
- 周波数特性 ： 50 Hz ～ 15 kHz　0 dB ± 2 dB（アナウンスマイク、マイク 1、マイク 2 以外）
  150 Hz -4 dB ± 2 dB
  15 kHz -2 dB ± 2 dB
  （アナウンスマイク）
  50 Hz　-2 dB ± 2 dB
  15 kHz　0 dB ± 2 dB
  （マイク 1、マイク 2）
- 歪率 ： 1 % 以下
- S/N ： 50 dB 以上（アナウンスマイク、マイク 1、マイク 2） 65 dB 以上（アナウンスマイク、マイク 1、マイク 2 以外）

■ モニタースピーカー出力 ： 0.45 W、音量調節器付、ハウリング防止回路付
- 周波数特性 ： 100 Hz ～ 10 kHz　0 dB ± 2 dB
- 歪率 ： 5 % 以下
- S/N ： 55 dB 以上

■ アナウンスマイク ： ムービングコイル（ダイナミック）型ハンドマイクロフォン付属
■ 電源 ： DC24 V　610 mA（EM-K100-10） 660 mA（EM-K100-15） 700 mA（EM-K100-20）
■ ラックマウントサイズ ： EIA　14U　ラックマウント金具 EM-U114（オプション）使用時
■ 質量 ： 10.6 kg（アナウンスマイク含む）
■ 外形寸法 ： 450 mm（幅）x 622 mm（高さ）x 129 mm（奥行き）（突起物含まず）
■ 仕上 ： アイボリー焼付塗装 , マンセル 2.5Y9/1 半艶

EM-C100 シリーズ　非常業務遠隔操作器

■ 出力制御 ： 10、15、20 回線および一斉（非常・業務放送兼用）
■ 非常放送 ： 音声警報式、一斉火災放送移行機能付
■ ブロック放送 ： 最大 5 ブロック（緊急優先ブロック、業務ブロック、BGM ブロックを設定可能）
■ 放送出力レベル計 ： 3 点　LED
■ ミキサー部
- 音声入力 ： アナウンスマイク入力　-45 dBs、10 kΩ 不平衡、AGC（半固定 VR、マイク断線検出機能付）
- モニター音声入力 ： 0 dBs、5 kΩ　電子平衡
- 外部入力 ： -60 dBs、2 kΩ / -20 dBs、20 kΩ　電子平衡（入力レベル切換スイッチ、半固定 VR 付）
- 音声出力 ： + 6 dBs、100 Ω 平衡

■ 音声入出力
- アナウンスマイク ： -45 dBs、10 kΩ　不平衡，AGC（半固定 VR、マイク断線検機能付）
- 出力レベル（非常リモコン音声） ： +6 dBs、100 Ω　平衡
- 歪率 ： 1 % 以下
- S/N ： 50 dB 以上（アナウンスマイク）

■ モニタースピーカー出力 : 0.45 W、音量調節器付、ハウリング防止回路付
周波数特性 : 100 Hz 〜 10 kHz, 0 dBs ± 2 dB
歪率 : 5 % 以下
S/N : 55 dB 以上
■ アナウンスマイク : ムービングコイル（ダイナミック）型ハンドマイクロフォン付属
■ 電源 : DC24 V 230 mA
■ ラックマウントサイズ : EIA 6U
ラックマウント金具 EM-U114（オプション）使用時
■ 質量 : 3.9 kg（アナウンスマイク含む）
■ 外形寸法 : 450 mm（幅）x 265 mm（高さ）x 69 mm（奥行き）（突起物含まず）
■ 仕上 : アイボリー焼付塗装 , マンセル 2.5Y9/1 半艶

EM-N103　追加電源ユニットケース

■ 充電部
充電方式 : トリクル充電
■ 蓄電池部
使用蓄電池 : ニッケルカドミウム蓄電池
蓄電池容量 : NB-60 型：DC24 V 6000 mAh/0.2 CmA
充電電流　180 mA
NB-35B 型：DC24 V 3500 mAh/0.2 CmA、充電電流　100 mA
適合規格 : 蓄電池設備認定委員会合格品
■ DC 出力 : DC24 V 2.5 A（max）
■ パワーアンプ電源出力（停電時）: DC24 V（EM-KA シリーズ専用）
■ 電源 : AC100 V 50 Hz/60 Hz 71 W
■ ラックマウントサイズ: EIA 3U
ラックマウント金具 PA-U13（オプション）使用時
■ 質量 : 3.1 kg
■ 外形寸法 : 450 mm（幅）x 132 mm（高さ）x 129 mm（奥行き）（突起物含まず）
■ 仕上 : アイボリー焼付塗装 , マンセル 2.5Y9/1 半艶

EM-R103　ユニットケース

■ 収納可能ユニット : WT-P882-G（ワイヤレスチューナーパネル）
WT-UD80（ダイバシティ・ワイヤレスチューナーユニット）
WT-P552-G（光ワイヤレスチューナーパネル）
WT-UH51/52（光ワイヤレスチューナーユニット）
PA-TU20（プログラマブルタイマー）
PA-F2-G（ラジオチューナーユニット）
■ ユニット用電源出力 : DC13.5 V 400 mA（max）
■ 電源 : DC24 V 15 mA（ユニットケース単体時）
■ 音声入力レベル : ワイヤレスチューナー　-20 dBs
ラジオチューナー　-16 dBs
■ ラックマウントサイズ : EIA 3U
ラックマウント金具 PA-U13（オプション）使用時
■ 質量 : 2.2 kg
■ 外形寸法 : 450 mm（幅）x 132 mm（高さ）x 129 mm（奥行き）（突起物含まず）
■ 仕上 : アイボリー焼付塗装 , マンセル 2.5Y9/1 半艶

EM-KA80D/EM-KA160D/EM-KA240D/EM-KA380D デジタルパワーアンプユニット

■ 適合規格 : 国土交通省電気設備工事共通仕様書
■ 周波数特性 : 60 Hz -3 dB ± 2 dB
100 Hz 〜 10 kHz +1 dB 〜 -2 dB
14 kHz -3 dB ± 2 dB
■ 歪率 : 1.5 % 以下
■ 入力インピ - ダンス : 20 kΩ 以上（不平衡）
■ S/N : 85 dB 以上
■ 電源 : AC100 V、50 Hz/60 Hz
DC24 V
■ 外形寸法 : 397 mm（幅）x 167 mm（高さ）x 124 mm（奥行き）（突起物含まず）

■ 定格出力・消費電力・質量

本体型名	出力制御（回線数）	組込デジタルパワーアンプユニット型名	定格出力	負荷インピーダンス	消費電力 ※ 1		
					電安法による	定格出力時	
					AC100 V	AC100 V	DC24 V
EM-K100	10	EM-KA80D	80 W	125 Ω	120 W	190 W	160 W
	15						
	20						
	10	EM-KA160D	160 W	63 Ω	190 W	320 W	270 W
	15						
	20						
	10	EM-KA240D	240 W	42 Ω	190 W	420 W	370 W
	15						
	20						
	10	EM-KA380D	380 W	26 Ω	250 W	630 W	560 W
	15						
	20						

本体型名	出力制御（回線数）	組込パワーアンプユニット型名	非常用蓄電池	デジタルパワーアンプ質量	総質量※ 2
EM-K100	10	EM-KA80D	NB-165 2.0 Ah/0.2 CmA トリクル充電 50 ± 10 mA	5.0 kg	17.2 kg
	15				
	20				
	10	EM-KA160D	NB-35B 3.5 Ah/0.2 CmA トリクル充電 100 ± 10 mA	6.5 kg	20.1 kg
	15				
	20				
	10	EM-KA240D	NB-60 6 Ah/0.2 CmA トリクル充電 180 ± 20 mA	7.8 kg	22.8 kg
	15				
	20				
	10	EM-KA380D	NB-60 6 Ah/0.2 CmA トリクル充電 180 ± 20 mA	8.3 kg	23.2 kg
	15				
	20				

※ 1）消費電力 : 本体にパワーアンプユニットを組込および非常業務遠隔操作器（EM-C100）を 4 台と業務リモコン（PA-C50 シリーズ）を４台接続した状態。
※ 2）総重量 : 本体にパワーアンプユニット、非常用蓄電池を組込時。

添付物

EM-K100-10/-15/-20　壁掛型非常業務放送装置

保証書...1
ビクターサービス窓口案内...1
安全上のご注意...2
設置上のご注意...1
取扱説明書...1
操作説明図...1
設置説明書...1
ネームカード...1
ラベル（6 種）...各 1
型紙...1
アナウンスマイク...1

EM-C100-10/-15/-20　非常業務遠隔操作器

保証書...1
ビクターサービス窓口案内...1
安全上のご注意...1
取扱説明書...1
操作説明図...1
ネームカード...1
ラベル（3 種）...各 1
型紙...1
コネクター端子台（10P）...1
コネクター端子台（3P）...1
アナウンスマイク...1

EM-KA80D/160D/240D/380D デジタルパワーアンプユニット

保証書...1
ビクターサービス窓口案内...1
ねじ（M3）...4
ラベル...1

EM-N103　追加電源ユニットケース

保証書...1
ビクターサービス窓口案内...1
設置上のご注意...1
リレーユニット...1
スタッド...2
ねじ（M3）...2
ケーブル...1
ウィングボルト...2

EM-R103　ユニットケース

保証書...1
ビクターサービス窓口案内...1
ウィングボルト...2

お客様ご相談センター

0120－2828－17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話（045）450-8950［代表］
FAX（045）450-2275
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12　電話（045）443-3152